

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立若水中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 464-0071
愛知県名古屋市千種区若水二丁目6番1号

E-mail : wakamizu-j@nagoya-c.ed.jp

Website : wakamizu-j.nagoya-c.ed.jp

児童生徒数：男子 156 名 女子 168 名 合計 324 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

A 国際理解学習

- 1年生が「リトルワールド」で班ごとに事前に調査した国のゾーンを訪れ、その国の文化・伝統について学ぶ活動型の調べ学習を行いました。生徒は国・地域によって様々な風習や信仰している宗教、思想があり、それぞれの文化や伝統を大切にしながら生活していることを知ることができました。お互いの文化・伝統を理解し、尊重しながら共存していくことが国際理解の第一歩であると考えられることができました。

- 1年生の総合学習デーに、国際センターの仲介で、アメリカ、インド、ハンガリー、ブラジル、フィリピンの方に来ていただきました。小グループにそれぞれ一人の外国人の方に付いていただき、その国の様子や文化についてお話を伺いました。また、百人一首や琴など日本の伝統文化について紹介しました。AETの先生とは違う国の人と話すことで、世界には様々な人々が異なった文化で生活していることを知ることができました。

B 環境学習

前年度にESD子どもフォーラムに学校代表として参加している3年生二人を代表者として、ESD実行委員会を発足させました。全校から有志として募集したところ、41名（1年生男子8名女子12名、2年生男子1名女子3名、3年生男子8名女子9名）が実行委員となりました。「住みよい街づくり」をテーマに「自分たちにできること」を考えた結果、都市部で起こるヒートアイランド現象対策として「緑のカーテン運動」に取り組むことになりました。

- 「緑のカーテン運動」を校内及び地域に呼びかけるために、うちわを作成しました。全校生徒から緑やうちわで涼をとることを連想させる絵と「緑のカーテン運動」のスローガンを募集し、うちわの両面にそれぞれを載せました。全校生徒から募集することで、実行委員だけでなく、全校生徒に「緑のカーテン運動」に取り組んでいることを意識させることができました。

- 実行委員で前年取れたふうせんかずらの種から苗を育てました。そして、その苗を地域で夏休みに行われる「仲田まつり」でブースをつくり、うちわとともに配布しました。2日間で計苗270株、種30袋、うちわ600枚を配布することができました。

- ふうせんかずらだけでなく校内に緑を増やすことで全校生徒の意識を高めようと生徒会役員が放置されていた学校の花壇で、枝豆やピーマンを育てました。花壇の土壌を入れ替え育てた結果、実がなり収穫をすることができました。

ESD 実行委員が中心となって全校生徒を巻き込みながら活動することで、「緑のカーテン運動」を通して環境問題だけでなく、持続可能な社会づくりを目指すESDの理念についても、全校生徒が理解することができました。また、多くの人が集まる「仲田まつり」で活動したことは、地元の広報誌にも取り上げられ、地域の環境を考えるきっかけとすることができました。環境問題について呼びかけるだけでなく、地域のまつりに参加し、問題提起をしたことは自分たちが住む地域は自分たちでよくしていかなければいけないという意識を育むことにつながりました。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()